

びふか 議会 です

こんにちは。

2018年5月
北海道／美深町議会

自然の恵みおいしいね

～4月22日 美深白樺樹液春まつり～



CONTENTS

私からのメッセージ	18
美深農業の現状と課題 町内の医療機関の運営状況と 課題について	14
委員会レポート	14
一般質問 4名の議員が6件を質問 町の考えを質す	10
平成30年度予算審査	5
条例改正・補正予算 町道除雪委託料の補正など	2

3月定例会

第105号

美深町議会

検索



この議会広報は、地球にやさしい再生紙を使用しています。

飲酒運転撲滅宣言

平成30年 第1回定例会

チヨウザメ産業の確立に向けて

町民が味を試す機会必要

平成30年第1回定例会は3月2日から16日までの日程で開かれ、新年度予算案7件、平成29年度補正予算案6件、条例制定・改正案8件が提案された。新年度予算案は予算特別委員会で、条例案1件については特別委員会を設置し、付託された。

補正予算

一般会計及び特別会計4本の補正。

一般会計では降雪増による除雪費の増額、事業確定による減額が主なもので、最終的には3727万円の減額補正となった。特別会計では、年度末を控え業務確定によるものが主な補正。

質問 今年は史上最高の積雪量と思われる中、今回2回目の補正を行ったが、現状をみてこの額で十分なのか。

建設水道課長

目一 杯中の排雪除雪をみていますので、今年度中は今回の補正で十分かと思う。

質問 各種検診委託費の減額の要因は何処か。どの程度予定し、実績はどうだったのか。

保健福祉G主幹

算で 予は350名措置し、実績で250名程度で、100名程度の減額補正となっており、要因としては例年少しずつ対象者が少なくなってきた。

質問 未来に繋ぐ森づくり推進事業補助金の減額理由は。

建設林務G主幹

有林 民における循環型の森林経営に対して補助するもので、国の補助残の26%を補助し、そのうちの16%は道からの補助となっている。今回は造林・徐間伐共に事業量が減少したため、減額補正となった。

質問

交通安全指導員1名分の減額補正と説明を受けたが、今後交通安全指導員ボランティアの活用は考えられないのか。



成り手が不足している交通安全指導員

交通安全指導員1名分の減額補正と説明を受けたが、今後交通安全指導員ボランティアの活用は考えられないのか。

減額は特養等の利用減が主な要因だということだが、現在の特養の利用状況と待機者は。

保健福祉G主幹

定 員50名のところ、美深町の方が40名、町外の方が10名入所しており、待機者は30名前後となっている。

生活環境G主幹

交 通安 全 指 導 員 の ボ ラ ン テ ィ ア と い う の は 今 ま で 考 え た こ と は な っ た が 、 今 後 検 討 し て 十 分 な の か 勉 強 さ せ て 頂 き た い 。

質問

施設サービス 給付費の大きな

質問者 藤原・南・岩崎・齊藤・諸岡・和田 議員 原案可決（全員賛成）

条例制定

美深町開業医誘致
条例

町内の医療体制を守るため、開業医の確保が課題となることから、新たに開業医誘致制度を整備する。

継続審査（全員賛成）

一般会計～主な補正内容～

補正前の額	補正額	補正後の額
53億3434万円	△3727万円	52億9707万円
総務費	まちづくり応援基金寄附相当分積立金	△730万円
民生費	障害者介護給付・訓練等給付費	△658万円
農林産業費	経営体育成支援事業助成金	781万円
	道営農業農村整備事業負担金	△960万円
土木費	橋りょう長寿命化修繕工事請負費	△2044万円
	町道除雪委託料	1798万円
	除雪機械及び排雪ダンプ借上料	825万円

条例改正

美深町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

長期継続契約について、複数年にわたって役務の提供を受けることが一般的である契約を対象に加える改正。

原案可決（全員賛成）

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備

3つの条例の一部改正を行い、平成30年度からの国民健康保険事業の安定的な運営を図るもの。

原案可決（全員賛成）

美深町開業医誘致条例審査特別委員会を設置し付託

今定例会において、議長を除く全員による特別委員会を設置し付託した。

第1回 3月13日

協議を行ったが審査に時間を要することが

第2回 4月10日

ら、継続して審査することを決定した。

所管課からの説明を受け、慎重に内容審査を行ない、採決においては全員賛成により、原案可決すべきと決した。詳細については、6月定例会にて報告する。

第7期
美深町高齢者保健福祉計画
美深町介護保険事業計画



平成30年3月
美深町

美深町介護保険条例

廃止するもの。

原案可決（全員賛成）

「第7期介護保険事業計画」における保険給付費等の見込みにより、第1号被保険者に係る保険料を据置くとし、適用する年度の規定について改正。

美深町道路占用料徴収条例

道路法施行令の一部改正に伴い、国が徴収する国道の占用料が改正されたことにより、町道の占用料を改正。

原案可決（全員賛成）

美深町給水施設置条例

市街地給水区域の拡張工事により、オキキン地区が中央簡易水道事業に切り替わることから、オキキン地区営農飲雑用水施設事業を

美深町都市公園条例

都市公園法施行令の一部改正に伴い改正。

原案可決（全員賛成）

美深町商工業担い手支援条例

商工業経営を目指す担い手の育成及び人材の確保を図るため、新規に開業する前に試験的に経営を行う者に対し、一年間チャレンジ事業者としての支援を新たに追加する改正。

美深町商工業担い手支援条例を総務住民常任委員会に付託

今定例会において、総務住民常任委員会に付託され、審査の結果、全員賛成で原案可決すべきものとして本会議に報告された。

審査の経過と内容

- ①対象年齢制限及び要件について
- ②商工会加入条件の必要性など

改正の主な内容

技術取得、研修調査等に係る経費	人材確保のための雇用に係る経費(月額)	事業に係る土地建物賃借料(月額)	チャレンジ事業者に係る経費(月額)
調査費2/3以内 限度額20万円	賃金1/2以内 限度額4万円	賃借料1/2以内 限度額5万円	単身者5万円以内 単身者以外 7万5千円以内

原案可決(全員賛成)



美深町商工業担い手支援条例にチャレンジ事業が追加!

その他

美深町勤労者福祉資金融資に伴う預託金及び融資限度額について

北海道労働金庫の運用原資として預託をし、勤労者の福祉資金として貸し付けを行うもので、預託する金額及び融資限度額を定めようとするもの。

原案可決(全員賛成)

臨時会

第2回臨時会

4月10日

財産の取得について

- 取得財産
チョウザメ
- 数量 3215匹
- 取得金額
3500万円
- 取得先
美深振興公社

質問

積算根拠は。

企画G主幹

市場に卸す際の処理費等を考慮し、原価分として、雄は1千円/kg、雌は3万円/kgとした。

質問

チョウザメの所有状況は。

企画G主幹

現在、215匹おり、チョウザメの総数は4

ザメ館展示用の1000匹は町所有で、それ以外の3215匹が美深振興公社の所有となっている。

質問者 岩崎・藤原・小口・齊藤・諸岡議員
原案可決(全員賛成)

財産の処分について

- 処分財産
新生定住推進住宅及び土地
- 処分金額
1500万円

原案可決(全員賛成)

第3回臨時会

5月9日

補正予算

大雪の影響による町有施設の補修工事費など、一般会計及び特別会計2本の補正。
一般会計は1817万円、北部簡易水道特

別会計は49万円、下水道特別会計は210万円追加補正するもの。

質問 公共施設建物共済保険の適用はあるのか。

総務G主幹 職員住宅、浄水場施設、木質バイオマス施設等まで損害の50%から100%、総額850万円補償される。

質問 入居者や指定管理者の管理に問題はなかったのか。

総務課長 今年の積雪は平年の1.5倍で、普段の雪の量ではなかったことを理解してほしい。
今後は直営・指定管理とともに担当職員から施設の管理について、指導を徹底していきたい。

質問者 小口・藤原・岩崎議員

原案可決(賛成多数)

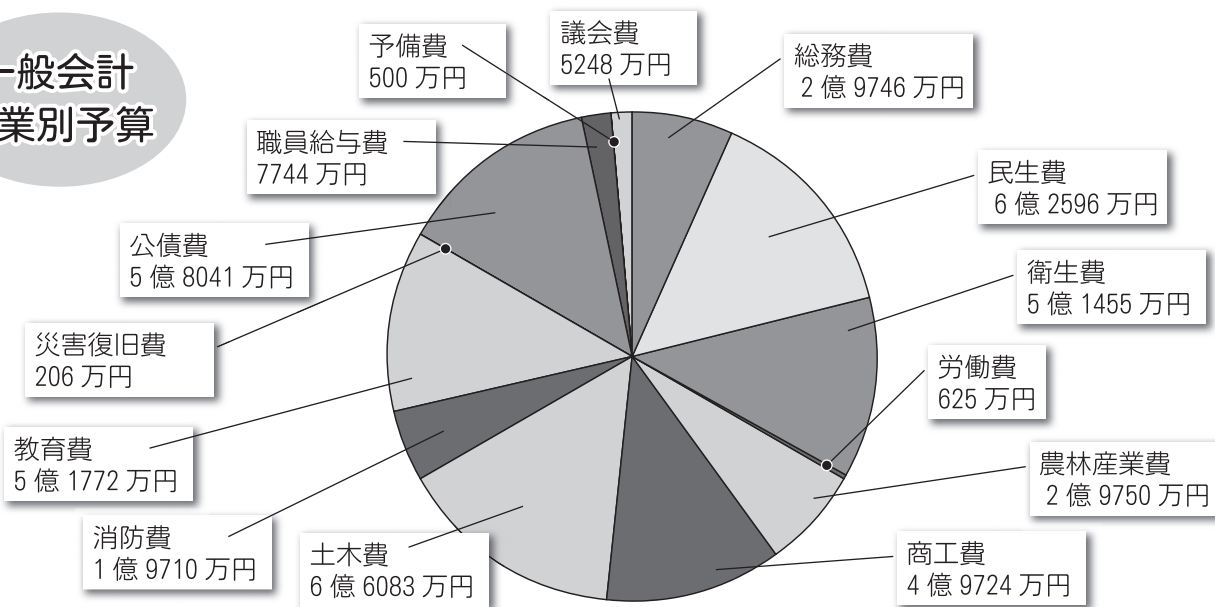
予算特別委員会

3月14日・15日の2日間、平成30年度一般会計及び特別会計並びに事業会計が審査され、原案通り「可決すべきもの」と決した。

諸岡 勇 予算特別委員長



一般会計 事業別予算



30年度 各種会計 予算額

会計区分	一般会計	特別会計					企業会計
		国民健康保険	後期高齢者	介護保険	北部水道	下水道	
予算額	50億3200万円	5億8530万円	8150万円	5億4600万円	2360万円	2億7760万円	1億1385万円
前年度比	2億1800万円	△8590万円	800万円	△3750万円	30万円	△3640万円	△323万円

注目の予算

幼児センター改修事業

センター内及び調理室の改修を実施



7630
万円

チョウザメ推進事業

2億5734
万円



飼育施設建設整備、チョウザメ仕入費、飼育管理費など



仁宇布小中学校建替基本設計業務委託

学校建替えに係る基本設計を今後の計画を進めるため委託する

600
万円

開拓 120 年 記念事業

1294
万円



美深町開拓 120 年を記念する事業を実施

自然環境と調和する 安全・安心なまち「美深」

水道配管更新計画

質問 2月に発生した水道管破裂による水圧減少の原因及び住民周知の方法は。また、新年度の配管更新計画は。

上下水道係長 消防署敷地内において漏水による排水流量の過大警告があった。情報端末により事故の発生と水圧低下の住民周知を行った。更新は平成28年度策定の水道長寿命化計画により進めている。

町道除排雪事業

質問 除排雪事業ではオペレーター不足が心配される。どのように状況確認しているか。

建設水道課長 町の直営でも抱えていた問題。民



オペレーター不足が深刻な除雪作業

協議会的なもので連携をとっている。

消防団

質問 消防団員が目標値にない。他県では公務員の入団がある。不足の原因と充足についての考えは。

消防署長 退団はある中で、二つの仕事として掛け持ちができないなどの理由により確保できない。

副町長 公務員が団員になることは、各自治体の歴史的

建設水道課長 町・開発・道などで冬期間の連絡

質問 市街地国道交差点で堆積した雪山による視界不良等が原因で小学生と車両との接触事故があった。国道除排雪の前倒しなど打ち合わせは。

質問 背景があるものと思う。災害発生時には町職員としての任務がある。消防議会で議論されていること承知しているが、直ぐに対応できることではない。

公共交通体系

質問 公共交通体系と高齢者の免許返納については、政策上リンクしてくる。支援策や奨励策などは考えているか。

企画係長 フレンドバスや移送サービスの提供などはあるが、地域交通活性化協議会の中で具体的な検討はまだ行われていない。

住民生活課長

免許証返納

は本人の意思であり、ご家族の判断による。高齢者に対する公共交通の整備は遅れていないと思うので活用をいただければ、返納の件数も増えるのではないかとと思う。

遭難事故

質問 加須美峠で本人の過失により捜索に当たる消防団員の日当など関係する費用の負担で、本人への請求はないのか。

総務G主幹 「遭難事故に関する要綱」で、町外の方が遭難された場合は、捜索に当たり派遣することになるその現場に精通した方への経費実費分は、遭難者もしくはその家族に請求することになる。

移住定住用住宅

質問 移住定住用住宅を販売したが売れなかつた検証はどのように。今後販売を考えているのか。

企画G主幹 移住を考えている方が住宅を購入して移住をするということについては、ハードルが高かつたのかなと思う。今後は移住体験を中心にPRに努め、公営住宅や民間空き住宅の活用を求めたい。

質問者 長岐・荒川・藤原・和田・小口・岩崎・南・中野委員

総合計画 第2章

資源をいかす 活力に満ちたまち「美深」

チョウザメ推進事業

質問 平成30年度は町内の飲食店でチョウザメ料理を口にすることができるとか。

食店向けには、まずはPR事業の一環として無償で魚肉を提供し、試食会を開催する中で

チョウザメ振興係長

町内飲

試食会を開催する中で

検証しながら実現可能かを各飲食店と相談していきたい。

質問

町民のチョウザメに対する見解は様々。イベント開催によって、より多くの町民がチョウザメの味を試す機会が必要だし、報道関係の注目度も町民にアピールすべきと考えるが。

企画G主幹

チョウザメ事業

の取り組みにおいては、第一に町民の皆さんに食べてもらうことが大事と考えている。PRの面では、当町の取り組みが報道関係から注目を浴びており、町民の方にも紹介、周知していきたい。

がんばる美深農業

質問

農林水産省がGAPの普及拡大を呼びかけており、東京オリンピック開催において、選手向けの食材はGAP認証が条件となっている。



今人気のチョウザメ堪能プラン

商店街賑わい、再生推進事業

当町の良質な農産物PRの機会でもあり、認証取得に手を上げる農業者に支援の考えは。

農畜産係長

GAP 認証の取

得は、あくまでも生産組合単位、団体等といった、産地として取り組むことが前提になると考えている。またGAP認証によって単価が上がるという状況もなく、各農家の機運が上がるれば町としても検討の必要があると考え

質問

平成23年から開始した、なぜ交流ステーション実証事業は、美深福祉会が運営を撤退するが、賑わい再生推進事業の観点から今後の事業継続の在り方を伺う。

企画G主幹

美深福祉会から

の運営中止の意向を受け、商工担当としては町の駅としての役割、街中の賑わい創出という当初の目的に即し、

総合計画 第3章

次代をつくる人を育てるまち「美深」

継続を協議してきた。今回、起業したい方の計画と一致する部分があり候補に挙げているが、限定はせずに目的に合った条件を付け

た形で公募したい。

質問者 藤原・長岐・和田・荒川・南・岩崎委員

英語教育の推進

質問

英語教育における国際友好都市との交流で話を聞いたところ、学校側は取り組んでみたいと希望していたが、教育委員会としての考えはあるのか。

教育G主幹

ALTの増員体制整備を進めるとともに、アシシクルフト村との交流についても

学校側と内容について協議していきたい。

質問

ALTを二人体制に増員する根拠は。

教育G副主幹

平成32年度

から新学習指導要領が実施されるにあたり、小学校では3年生から外国語が必修化され授業時数も増える。

質問

美深高校存続に向けて制度化した奨学金により一定の成果が見られるが、就職希望者への支援がなく、不公平さを指摘した経緯がある。2年が経過したがどのように検討したのか。

美深高校教育推進事業

これまで小学校ではALTの活用時数が少なかつたが2名体制にすることによって、より時数が取れ、外国人とのコミュニケーションもより図られるもの



ALT授業風景

教育次長 普通高校
という位置

付けからは、やはり進
学に力を入れ、そこに
支援していきたい。

安定して生徒を確保
できる状況になれば就
職希望者にも支援を考
えなければと議論して
いる。

質問 公平性に欠け
るという意見が

あるのは事実。美深高
校卒業生が地元で就職
をし、地元に残るとい
うことは町の将来にも
寄与することと考える
が。

教育次長 就職に際
し一時金を

支給するという方法も
考えられるが、合わせ
て受入れ企業への支援
も必要となる。少し考
えていきたい。

スポーツ活動の推進

質問 運動広場の管
理棟改修について、

パークゴルフ利用
者からの要望とは思っ
て、予算計上の経緯は。

教育G主幹 パーク
ゴルフ利

用者や協会から現状で
は大会などの開催時に
開会式を行う場所や昼
食をとる場所が手狭だ
という要望があり、管

総合計画
第4章

健康で明るく 暮らせるまち「美深」

健康づくり医療

質問 食事指導につ
いて、高齢者の

栄養相談等を行なって
いるが、相談実績につ
いてどの様な事が読み
とれたか。

保健福祉G副主幹 デ
ータ

分析という細かいとこ
ろまで出来ていないが、
高齢者というより栄養
評価・生活習慣病の実
態評価として整理して
いる。

特定健康診査

質問 胃ガン対策に
向けたピロリ菌

理棟の増築を協議した
経緯がある。

質問者 岩崎・長岐・
中野・和田・荒川・藤
原・小口・南委員

防医療として取り組む
考えは。
保健福祉課長 ピロ
リ菌検
査の有効性を調べてお
り、全国的な状況や事
後体制、実施機関との
協議など検討はしてい
る状況。

地域包括ケア支援

質問 認知症カフェ
の考え方は。

検査が、道内自治体で
実施されているが、予



保健センターでの検診の様子

包括支援G副主幹 知症 認

の方や家族が、気軽に
話し合いや相談に来や
すく誰もが来ても良い
サロン形式で、包括支
援センター主体で行う
予定。

地域医療

質問 厚生病院の支
援、民間の開業

医誘致等、町民の医療
を守る観点での財政的
な上限は。

町長 我が町の医療
状況、医療体制

を考える時点で細かな
金額は言いにくい。今
後の医療費改定等があ
りこの辺りのことも含
め考えたい。

福祉団体支援

遺族会の高齢
化が進み、会が
開催する招魂祭が戦後
70年を超え今後、組織
の維持についての考え
は。

保健福祉課長 戦没
者の方

ご遺族の援護と団体組
織も高齢化となり、平
和記念式典も参加者が
減少傾向にある。社協
とも協議し必要な対応
があれば支援したい。

質問者 長岐・荒川・
岩崎・藤原・和田・小
口・南委員・倉兼議長

総合計画
第5章

みんなのでつくる 心かようまち 「美深」

町有施設アスベスト

質問 町有施設アス
ベスト点検業務
の対象は。

管財係長

昨年診断
を受けた施
設中、役場庁舎、分庁
舎、第3コミセン、町
民体育館、林業保養セ

ンター、特養老人ホーム、消防庁舎、物産展示館、幼児センターの物置が継続して点検を委託するもの。

昨年(point)の点検で空中飛散はなく、当面は目視点検。当面撤去は考えず、必要が出た場合封じ込める方法をとる。

美深警察署庁舎建設

質問 美深警察署庁舎建設用地取得費について、この土地は美深福祉会のものだが、当時の売買単価は。また、土地に関する道との協議、現在地の跡地はどうなるのか。

総務課長 この土地は個人から福祉会が購入したもので売買単価はわからない。今回購入するにあたっての単価は地域の実情を勘案したもの。跡地は町有地で警察署としては職員住宅地のみ賃貸すること。新用地についても賃貸借となる。

質問 署員の住宅は新用地に建設するの。署長クラスは緊急時対応のためにも新用地に建てないのか。

総務課長 署員住宅については新用地にまちづくりの観点からも町営住宅を建設する提案をした経過はあるが、現在地からの移転は考えていないとのこと。ただ将来的に名寄警察署分庁舎として残っていたり、ためにも働きかけは続ける。

地域人材育成事業

質問 地域人材育成事業研修事業補助金の新年度50万円減額理由は。 **企画係長** 内訳として、まち・ひと・しごと育成事業が100万円から80万円に起業者育成事業は50万円から20万円、いずれも執行残と実績がないことからの減額。

質問 実績が上がらない検証しているのか。 **企画G主幹** 事業の要件が使用できないものになっていく認識もあるので、今後柔軟な対応できるように改善していきたい。

120年記念事業

質問 120年記念事業花火大会の内容は。 **振興係長** 実行委員会を設けて夏まつりに続いた日曜日と予定。打上場所はカヌーポート、見学場所はCOM100に。120年にかけて規模は1200発、予算は250万円、町内企業等に協賛金を募って総額350万円の計画。

ゲーム事業のPR事業を大学教授等の講演会や試食会で町内に浸透図っていく。 **質問** 森林保全の協定を締結したスバルと連携した。記念植樹祭を仁宇布地区で実施したい。さらに松浦武四郎生誕200年でもあり、出身地の松阪市にチョウザメのはく製を贈呈。ふるさと貢献賞も対象者を広げて表彰するほか、記念動画作成も行う。

総務課長

29年度は5千8百万円。返礼品の新たな掘り起こしに課題がある。使い道の具体化をして、さらなる寄付につなげたい。

ふるさと納税

質問 ふるさと納税の実績と課題検証は。 **総務課長** 29年度は5千8百万円。返礼品の新たな掘り起こしに課題がある。使い道の具体化をして、さらなる寄付につなげたい。

国際力ナートーリング大会も天塩川流域を盛り上げる意味で支援

質問者 荒川・齋藤・長岐・岩崎・藤原・和田・南委員

総括質疑

質問 まちづくりは人づくり。行政と産業界一体となった組織立てで取り組むべきでないのか。加えて協力隊や産学官連携事業を有効に使うべきでないのか。

町長 人材育成は一人自治体だけではやりきれない分野もある。各分野においても共々に一つの方向に向かって取り組んでいきたい。

質問者 倉兼議長

減額修正案

花火大会の予算250万円を減額する修正案が提出された。

◎提出者 岩崎委員 120年事業は小規模で行うとしているが、予算規模が大きい。また、反対の声が大きい花火大会は減額するべきである。

◎討論者 藤原委員 120年記念の冠をつけた既存事業が多く、大規模な予算とは言えない。

修正案反対 長岐委員 意見集約の人数が少なく、多くの町民の意見とは言い難い。

修正案賛成 小口委員 花火大会予算に過疎債を使うことに問題があるとの考えに賛同する。

修正案否決(賛成少数) 原案可決(賛成多数)



① 高齢者福祉について

小口英治 議員

問

高齢者の見守り体制は十分か

答

積極的に関係機関と対応

質問 高齢者福祉の一環として消防署直通の緊急通報装置（火災報知器・ガス漏れ警報器がセット）100台所有の内、61台が運用されているが、稼働率が低く、設置に對してのハードルが高いのではないか。

町長 民生委員、ケアマネジャー、

介護ヘルパーなどからの情報をもとに、ハードルは高くない適切に配置している。希望があれば、積極的に関係機関と対応する。

質問

最近、民間事業者においても高齢者の安否確認、訪問、緊急時の駆けつけサービス等が行われており、ふるさと納税に取り入れている自治体も全国的に17ある。ふるさと納税では、返礼品で競い合うだけでなく、高齢者見守り事業もソフト事業として捉えることもできるが、どのような考えか。

町長

民間の団体の方々と協定を結び対応もしている。ひとつの提案として検討していきたい。

質問

12月18日に発生した行方不明者に関する防災情報端末末機による情報発信について、プライバシー保護と緊急性の観点に對しての取扱いに對し、情報を出したがために混乱を招く状況も考えられる。

町長

民生委員さんの自分の区域内で気になる場合があったとすれば、もう少し密に連絡を取り合う必要があったとも考えている。



安心・安全を確保する緊急通報装置

町政のことが聞きたい!!



① チョウザメ養殖事業について

長崎和彦 議員

問

収益事業にかかる部分は
コンペティションの導入を

答

即答できる段階ではない

質問 行政主導で「事業Ⅱビジネス」が確立できるとする根拠は何か。

町長 収支が取れないので、投資型の町の事業として行政が先行してやらなければならぬ。当面は飼育技術の品質の向上を図りながら魚肉やキャビアの安定した販売による収益を試算しておりそれを根拠としている。

質問 事業の継承先として美深振興公社を挙げた理由および新たな公社の組織を設立する案とは。公社への継承以外の方法を検討した経緯は。

町長 チョウザメ事業に携わっているのが美深振興公社なので、スムーズに移行できると思う。また、北海道大学や研究機構などの協力を得る中で、これらの知的財産を行政としてしっかり管理しながら守っていくために、行政の権限も有する第3セクターの設置も考えている。

質問 自治体は公共事業の実施は可能だが、収益事業の実施は不向き。収益事業にかかる部分については、包括的な運営を目指すことを目的としたコンペティションを導入してはどうか。

町長 軌道に乗ったまま温泉に全部戻すのではないかと、そついうことではなく、

町長 収益では技術論もあるが、道庁など各機関が一体となった試験研究機構があり、連携をとりながら運営についての議論をしていたらいい。コンペティションについては即答できる段階ではないのでご理解いただきたい。

質問 チョウザメ事業が赤字に転じた場合、経常収益が美深温泉改修ほか公社の経営立て直しのための経費として吸収されてしまうのではないか。

町長 軌道に乗ったまま温泉に全部戻すのではないかと、そついうことではなく、

今、直轄でやろうとしている部分については新しい公社を作るなり、3セクはどうかということを含めた今後の課題としている。

質問 想定される雇用者数はどのくらいの期待値か。

町長 計画通り進んでいくとすれば、パートも含めて今のところ10人程度になるかと思う。



建設工事が進む美深町チョウザメ飼育研究施設 稚魚ふ化棟

質問 「産業総合研究事業を立ち上げ、新たな産業の構築を模索する」とは、どのような構想か。

町長 大きな投資をして事業化を図り、農林業商工業一体となりながら商品化を進め、町内経済を活性化させていくということ。

町政のこころが聞きたい!!



- ① チョウザメ事業
- ② 次世代の人材育成のための学校教育の充実

藤原芳幸 議員

町長 平成28年は800匹、昨年は1300匹の稚魚が確保できた。6月完成の新施設ではこれまでで

質問 チョウザメ事業を軌道に乗せるためには、ふ化事業が成果を上げ稚魚を確保し、飼育していくことが求められる。稚魚の目標を5千匹としているが確保のめどは。また次年度以降の整備計画は。

問

ふ化事業、目標の達成は

答

可能だと考える

町長 計画に合わせ個体数を確保しなければ事業が回っていかないが、町費を使わずに済むよう財源確保を全力で行ってきたい。

質問 今後、事業計画に沿った整備を進めるにあたり、状況によっては町費の投入もあるのか。

上の環境が整い、北大との協力も得ながら必要な稚魚確保ができると考えている。30年度は増えた個体を飼育していく屋外水槽の整備に一部着手し、31年度には残りの整備を進めたい。財源確保が前提となるが事業の安定化に繋がるよう整備したい。



大きく成長してほしい
チョウザメの稚魚

問

コミュニティ・スクールで
人材育成を

答

下地は整っている

質問 美深小、中学校でコミュニティ・

スクールの制度導入を図り地域との関わりを強化し、地域教育を充実させ、将来地域に関心を持ち、力となる人材の育成を進める必要があるのではないかと。

教育長 地域との連携と開かれた学校づくりを目指し、

地域住民の協力を得ながら取り組みを行い、教育に活用してきた。コミュニティ・スクールの必要性は認識しており、導入に向けた下地は出来ていると考えている。

関係機関と協議していきたい。

質問 町民にも、より地域に対する関心を持ってもらう必要がある、社会教育などで取り組みができませんか。

町内では郷土研究会が歴史や風土を発掘する事

教育長 町内では郷土研究会が歴史や風土を発掘する事

コミュニティ・スクールとは

学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく仕組みです。コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取り組みがおこなわれます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

業を行っており、住民に内容を知ってもらうことや、この制度について理解してもらうことも大切だ。

町政のこころが聞きたい!!



- ① 平成30年度町政執行方針について
- ② 平成30年度教育行政執行方針について

岩崎泰好 議員

問

開拓120年の意義と記念事業に、
齟齬(そご)がないか

答

配慮して事業を組み立てた

質問

町民が安心して住み続けられる活力ある町づくりを着実に推進とする平成30年度町政執行方針に、開拓120年事業について「積み重ねてきた歴史、先人の偉業、苦労を振り返り、感謝すると共に美深町づくりを時代に継承していかなければなりません」とある。事業の本身は、120年を振り返る事業がどうも見受けられないことに懸念を抱いている。記念事業の意義と内容に齟齬(食い違い)があるのではないか。

町長

100年の節目のような盛大な事業展開は考えてい

ない。松浦武四郎生誕200年、北海道命名150年、更には我が町の120年、こういう事業が重なっている関係から冠をつける事業等もかなりある。記念事業に対する齟齬がないかとの認識の問題であるが、私としてはそういうことに配慮をし、メインテーマやサブテーマを大事にしな

ら色々事業展開を考

えた。

それらの事業と連携した歴史や先人の偉業、苦労を振り返るそれぞれの機会にしていきたい。

質問

去年から盛大な事業は考えていないし、この程度の事業内容で済ませたいという話であったが、予算規模的には1千万円以上のお金を使う。



花火大会

町長

花火大会で250万円、チヨウザメの講演会・試食会にタレント「さかなくん」を呼んで150万円など、記念事業費合計1294万円とC

そこに400万円の地方債を使うことについて、適切なものかどうかという判断は。また、この記念事業は誰による誰のための記念事業かという点で、100年事業の時には計画時点からいくつもの町民参加による企画参画の中で進めて、結果として延べ6160人が参加をする大きな事業となった。120年も「みんなで作る美深」の実践形式を踏んで事業計画を立ち上げるべきではなかったのか。今後、補正を組んでも歴史文化をしつかり振り返る事業を組み立て、町民と共有していく作業が必要と思うが。

OM100事業の上乗せ500万円を入れると1794万円を120年事業として考えている。
事業として、足りないものもあるかもしれないが、特別大きな補正は今の時点では考えていない。

そのほか、「SNS(ソーシャルネットワークサービス)の活用と情報化の推進」「農業の振興、環境と調和した安全安心な農業の推進」「教育の振興に関して、議会との議論の進め方の手法」「高齢者支援の充実はどのような展開を進めるのか」「障がい者支援の充実で心配をする現状、かざる交流ステーション実証事業の撤退」で5点、平成30年度教育行政執行方針で2点、質問。

レポート

総務住民常任委員会

所管事務調査

調査事項

町内の医療機関の運営状況と課題について

- ①厚生病院の運営状況と課題について
- ②町内の開業医の利用状況について
- ③開業医誘致の考え方について

調査日

平成30年1月30日

調査の目的

高齢化が進む中で、医療体制の充実は重要である。公的医療機関として厚生病院があるが、町民にとって民間医療機関も身近な、かかりつけ医として維持継続が必要と考え調査するもの。

調査のまとめ

①厚生病院の運営状況と課題について

厚生病院の外来・入院患者数の減少等の要因については、人口減少も一因と考えられるが、町外医療機関への受診動向も一因ではないか。

軽度な患者が他で受診することなく、一次医療圏の厚生病院としての役割を果たすことが望ましい。その為



美深厚生病院

数の長期化による通院回数
の減少が上げ
られる。

厳しい状況

ではあるが、
地域における
「かかりつけ
医」として、
町民に信頼さ
れる医療機関

は、地域の基
幹病院である
厚生病院とも
重要な医療
機関である。

地域における医療機
関の重要性からも開業
医への維持存続に向け

た方策や、地域医療を
守るべく施策を早急に
検討すべき。

③開業医誘致の考え方
について

町の基本的な考え方
は「町内の地域医療体
制を守るため、開業医
を確保する」ことが必
要と示された。

地域医療を守るため
には、医療機関の維持
医師の確保が必要不可
欠であり、開業医を誘
致するため、近隣の
開業医誘致条例等を上
回る魅力のある条例等
の整備が必要である。

は常勤医師2名を早急
に確保し、町民とのコ
ミュニケーションを重
視し相互理解を深めて
いく必要があり、職員
の接遇改善を継続して
取り組み、職員の意識
向上を図っていくこと
が必要と考える。

②町内の開業医利用状
況について

外来患者数について
は減少傾向にある。要
因として人口減少・専
門医療機関の転院、高
齢による入院、処方日



瀬尾医院

委員会

産業教育常任委員会

所管事務調査

調査事項

美深農業の現状と課題

①新規就農について



平成30年2月26日

調査日

調査の内容

基幹産業である農業の後継者育成及び新規の農業政策を立ち上げる中で農産品の付加価値や品質向上への環境を整えているが、こうした取り組みが新規就農にどのような影響を与えているか調査する。

調査のまとめ

認定農業者の戸数は124戸であるが、10年後は87戸を試算。ま

た、5年後の要集積は経営面積の23%にあたる873・58haを見込んでいる。平成28年度に耕作放棄地はゼロになったが、今後の美深農業を考えると、耕作放棄地の発生が危惧される。

新規就農者は平成6年の条例制定後13件の受入実績となっている。しかし美深農業は農家の減少に伴い大規模化、法人化が必要としているが、農家は後継者がいないことや現状維持などを理由として、投資的経営を考えていない状況にある。このこ

とは、新規参入農家についても危惧される。「がんばる美深農業」は土づくりや品質向上をめざし、

長期的には所得向上、経営安定に結び付ける制度であるが、3年間の時限政策であり予算規模も小さい。農業の大規模化、法人化を方針とするなら、制度の規模拡大と継続が望まれる。

農業と認定するに至らない規模でも、自給自足プラス営農を含めた農業経営の在り方を考える人たちに対応することも考える必要がある。

無加温ハウス野菜栽培を始め、年間を通じた農産物の生産が可能な環境となった。JA



無加温ハウスでの作業の様子

など大きな市場への展開のほか、小規模で町内需要も視野に入れた季節野菜の栽培を取り組む農家の支援など、基本的な農業の基準を理解しつつも、これからの農家の在り方について考える必要がある。このことは、農産品の価値も高く消費者の需要もあることから、地域資源を有効活用する視点で積極的に取り組むことが必要である。

山村留学に関する調査 特別委員会報告

議会休会中の 活動内容

第3回 1月31日

教育委員会から教育長ほか3名の出席を求め、全委員出席。

前回までに委員会に提出された資料をもとに、質疑を行った。

第4回 2月20日

平成30年第1回定例会に報告書を提出することを確認し、報告書の内容確認修正等を行った。

今後、委員会としての協議から、議員個々の立場で議論すべく、本特別委員会は調査を終了した。

調査のまとめ

課題点及び問題点

①地域住民の定住人口が年々減少し、地域の学校としての在り方に

ついて課題がある。継続するための生徒確保の充実強化をいかに推進していくかが明確に示されていない。

②山村留学制度を継続するためには概ね20名程度の生徒数が必要との考え方が教育委員会から示されたが、ホスターホームの老朽化対策と収容能力、親子住宅の整備に課題がある。ホスターホームの管理運営体制も一定の方針が示されたが具体性に

欠ける。

③地域住民の減少による山村留学推進協議会の体制整備をいかに図っていくかが課題としてある。

④これまで山村留学制度推進要綱により多額の財政投入の批判もあるが、学校があることによる交付税措置はされている。また美深小学校中学校が改修改築された経過から、仁宇布小中学校が耐震強化

不足と国から指導を受けている現状をみれば、教育の不公平があるのではないか。町民に対し山村留学制度の丁寧な説明、方針を示すべき。

⑤全国的に山村留学に取り組む地域、学校が減少傾向にあり留学希望者は潜在的に多くいる。仁宇布小中学校の在り方について山村留学制度に特化した学校にしたいのか、山村留学制度もある地域の学

校として存続させたいのか教育委員会としての方針が見えない。

⑥特認校制度やミニミニティースクール制度の導入で特徴ある学校運営方針を示すべきである。生徒確保策として、仁宇布地区以外の町内生徒も入学できる特認校制度の導入を研究すべきである。

⑦山村留学のPR活動が弱い。情報発信が行政として弱い。町民に対しては、随時情報提供し山村留学制度の理解の醸成を図るべきである。

⑧校舎の改修改築は、耐震強度不足が指摘されており喫緊の課題。今後、校舎建設の基本構想と財源確保の考え方について第5次総合計画に沿って計画執行するのかもしれないかの判断を早急に具体化するべきである。



議政務 活動報告会

町職員と合同で

職員と情報を共有

2月20日、政務活動報告会が、役場会議室で行われた。

先進地視察や出席した研修会内容について、映像と資料により行うもので、今回は町職員も、まちづくりに必要な情報を共有することを目的に多数出席した。

株式会社貂(みやく)村の活動を視察

①視察先

愛知県長久手市

②活動議員

諸岡・藤原・和田

③目的・内容

株式会社貂村は愛知県長久手市郊外において、古民家を改装し常時10数名が共同生活をしながら、スペインから無農薬にこだわって抽出したオリブ油を輸入し株主に販売。良質な商品を契約農家から高く仕入れ、顧客には安く提供するという日本国内では画期的な消費者・生産者目線で事業を展開しようとする会社。

美深町仁宇布を訪れた方も数名参加しており、仁宇布地区の観光や移住定住策の新たな発見となった。

◎報告者 和田議員

テレワークによる雇用創出方法と定住移住対策について

①視察先

岡山県新庄村

②活動議員

倉兼・南・斉藤・小

口・荒川

③目的・内容

新庄村は岡山県西北端に位置する人口1000人、380世帯の村である。美しい自然環境に恵まれているものの、農業林業公務以外の仕事が少ない、キャリアやノウハウを生かせる企業もなく、若者の転出が多い。

そういう労働環境の中、若い女性や子育て世代の女性のICTスキルを育て、東京の企業と連携して、インターネットやパソコンを利用する働きかけをして、テレワーク就労できる体制を構築し確保することによって転出の抑制と、首都圏からシングルマザーの移住を促進。女性の就労と子育てを総合的に環境整備することで、都会から離れた場所での就労を実現し定住への加速化を図っている。

◎報告者 荒川議員

ゴジカラ村視察

①視察先

愛知県長久手市

②活動議員

諸岡・藤原・和田

③目的・内容

ゴジカラ村は幼稚園から特別養護老人ホームまで6施設が集まる福祉村で、入園者・通園・職員・ボランティアなどが集まるまさに村そのものである。

各施設間の連携

携や生活感を失わない環境づくりなどに対する発想に参考になるものが多い。入所者は村にとって必要な役割があり活躍の場を持って暮らしている、多くの人が集まる利点を生かした多世代交流も実現している。

◎報告者

藤原議員

自然保護活動の取り組みの公演会参加

①視察先

札幌市

②活動議員

諸岡・藤原・和田

③目的・内容

明治以降、北海道の開拓は経済効果を優先して進められ、その結果自然保護・保全が置き去りになってきたが、近年、環境に対する関

心が高まり、人優先から動植物に対する配慮、また、この地球に対する負荷の軽減まで議論されるようになった。動植物の生態系が維持できる環境が人類も生存できる環境であり、その環境こそがこれからの地域の宝になる。

◎報告者 諸岡議員

幸せを実感できる美深町へ
将来の持続性に対する不安と懸念をどのように払拭するのか

●主な政務活動

- ①市町村議会議員研修『社会保障・社会福祉5日間コース』受講
- ②北海道自治体学会・議会技術研究会フォーラム2017 参加
- ③北海道自治体学会地域フォーラム3しもかわ 参加
- ④議会技術研究会のコン会員合宿 参加について報告。

◎報告者 岩崎議員





私からのメッセージ

美深町へやって来た
お二人からメッセージを
いただきました。



美深町に移住して

むら 村
た 田
かず 和
ひこ 彦

以前の仕事の繋がりが
から美深町を知り、い
つかは北海道へ移住を
考えておりましたが、
予定より早い1年半前
から町民となり、仕事
においても2回目の春
を迎えられました。

2年前美深町にロング
ステイしていた時期に、
肌で感じた美深町の不
足している部分を集約
した店作りが出来たら、
少しでも町の役に立て
るか、その時出会え
た『新規事業支援』と
いう政策とたまたま空
いていた最高の立地で

の店舗をきっかけにス
タートしました。
生まれてからずっと
住み慣れた東京からの
移住の不安は始めから
なく、周囲から言われ
てた冬場の雪や寒さに
おいても、役場や近隣
の方々の助けを借りな
がらですが、2回目の

冬も乗り切ることが出
来ました。
美深での仕事は、初
めての業種ということ
もあり、開店当初は来
店された方々に大変ご
迷惑をかけてしまう毎
日でしたが、日に日に
お得意様がが増えて充
実しております。
これから永住する場
所として、念願だった
持家や自分の店、そし
て大切な居場所として
美深町を選んでよかつ
たと思える毎日です。

就農三年目を迎えて

すぎ 杉
しま 島
めぐみ

平成26年に新規就農
を目指して、夫と美深
町にやってきました。
引越した翌朝にマイナ
ス30度という強烈な寒
波の洗礼を受け、これ
からここで本当にやっ
ていけるのかと不安に
思った事も、今では笑
い話となりました。

私は農業の経験もな
く何もわからない状態
で研修を始めましたが、
研修でお世話になった
農家さんは皆さん優し
く指導して下さいまし
た。
自分自身、毎日必死
に研修をこなしてきま
したが、無事に就農で

きたのは、周りの皆様
に支えて頂いたおかげ
だと思っています。
また、美深町は新規
就農希望者への支援が
手厚く、安心して研修
に専念する事ができま
した。町や農協、普及
所が連携して支援して
下さる事も新規就農者

への大きなメリットだ
と思います。
おかげ様で今年で就
農3年目を迎えました。
農家の仕事は天候に左
右されやすいので、毎
日夫とどうするべきか
と相談しながら作業を
しています。今年も無
事に収穫を迎えられる
ように、毎日努力して
いきます。そして、将
来は立派な「農家のか
あさん」になれるよう
に頑張ります！

議会の動き・予定

3/1 議会運営委員会

第1回定例会

3/2 本会議

3/6 議会運営委員会

3/12 一般質問

3/13 総務住民常任委員会

美深町開業医誘致条例
審査特別委員会

3/14 予算審査特別委員会

3/15 予算審査特別委員会

議会運営委員会

3/16 議会運営委員会

本会議 議案審議

4/10 議会運営委員会

第2回臨時会

全員協議会

美深町開業医誘致条例
審査特別委員会

4/24 議会広報特別委員会

5/9 議会運営委員会

第3回臨時会

全員協議会

議会広報特別委員会

編集／美深町議会広報特別委員会

印刷／有美深印刷